

保守とお手入れ 常に明るくご使用いただくために定期的にお手入れをしてください。

■お手入れの際や、ランプ交換の際は必ず電源を切る。

**必ず守る**

＊電源を切らないと感電の原因となります。

■器具のお手入れ

**必ず守る**

●器具が虫やほこりなどで汚れたら、乾いた柔らかい布で軽くはたきおとす。汚れが落ちない場合は、柔らかい布に石けん水を浸してよくしぼったのちふき取り、乾いた布で仕上げる。

＊石けんとは天然油脂を原料としたものです。（商品表示が“石けん”であることを確認してください。）

■みがき粉やベンジンなどでふいたり熱湯や殺虫剤をかけない。

＊傷、変色の原因となります。

**禁止**

殺虫剤  
みがき粉  
ベンジンなど揮発性のもの  
熱湯

■下記消費電力以下の日立製ランプを使用する。

**必ず守る**

＊指定以外のランプを使用しますと、器具の異常過熱などにより、火災の原因となります。

白熱電球60W形相当（E26口金）  
消費電力11.4W以下  
●密閉形器具用ランプ使用

白熱電球および電球形蛍光ランプは使用できません。

**禁止**

接触禁止

熱い危険

仕様 ※定格消費電力と入力電流は、適合ランプ装着時の値です。

この製品は日本国内家庭用です。電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。					
形式	仕様	定格電圧	周波数	定格消費電力	適合ランプ（別売）
LLC6217E、LLC6218E LLC6219E、LLC6220E LLC6221E	交流100V	50/60Hz 共用	8.1W	0.15A	日立LED電球（口金：E26） LDA8L-G/60A

アフターサービス

＊万一、煙が出たり、変な臭いが出るなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源スイッチを切り、異常状態がおさまったことを確認してから、お買い上げの販売店に、器具の形式（器具銘板に表示）、現象を連絡のうえご相談ください。

**お客様メモ** 後日のために記入しておいてください。 購入店名 \_\_\_\_\_

サービスを依頼されるときにお役にたちます。 電話 \_\_\_\_\_ ご購入年月日 \_\_\_\_\_

日立家電品についてのご相談や修理はお買い上げの販売店へ

なお、転居や贈答品などで販売店がご不明な場合は下記窓口にご相談ください。

※下記窓口の内容は、予告なく変更させていただく場合がございます。

商品情報やお取り扱いについてのご相談窓口		修理に関するご相談窓口	
<b>TEL</b> 0120-3121-11		<b>TEL</b> 0120-3121-68	
<b>携帯電話・PHSから</b> 050-3155-1111（有料）		<b>携帯電話・PHSから</b> 0570-0031-68（有料）	
<b>FAX</b> 0120-3121-34		<b>FAX</b> 0120-3121-87	
（受付時間）9:00～17:30（月～土）、9:00～17:00（日・祝日） 年末年始は休ませていただきます。		（受付時間）9:00～18:00（月～土）、9:00～17:00（日・祝日）	

- 「持込修理」および「部品購入」については、上記サービス窓口にて各地区のサービスセンターをご紹介しますいただきます。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 修理をご依頼いただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。

◎日立グローバルライフソリューションズ株式会社 〒105-8410 東京都港区西新橋2-15-12 電話 (03) 3502-2111

取扱説明書

保存用

日立LED照明器具

HITACHI Inspire the Next

※ランプ別売

シーリングライト

LLC6217E、LLC6218E  
LLC6219E、LLC6220E  
LLC6221E

このたびは日立LED照明器具をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに大切に保存してください。

■ここに示した注意事項は  
表示内容を見誤りして誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害を、次の表示で区分し、説明しています。

危害や損害とその程度の区分	絵表示の例
<b>警告</b> この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。	<b>警告</b> 「警告や注意を促す」内容のものです。
<b>注意</b> この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。	<b>禁止</b> してはいけない「禁止」内容のものです。
	<b>指示</b> 実行していただく「指示」内容のものです。

安全上のご注意

**警告**

- この器具は、屋内・天井取付専用の器具です。
- 器具の取り付け工事は、電気工事店（有資格者）に依頼する。  
＊しろうと工事は危険です。また、法律で禁じられています。
- 器具の改造、構成部品（ソケットなど）の交換はしない。  
＊火災・感電・故障の原因となります。
- 器具のすきまに金属類（ヘアピン・針金など）を差し込まない。  
＊感電・故障の原因となります。

**注意**

- 定格電圧交流100V以外で使用しない。  
＊過熱し、火災の原因となります。
- 指定以外のランプは使用しない。  
＊器具の異常過熱の原因となります。
- 浴室など湿気の高い場所や常時温度の高い場所（35℃以上）では、使用しない。  
＊絶縁性能が低下し、火災・感電の原因となります。
- 屋外で使用しない（この器具は屋内専用です）。  
＊火災・感電の原因となります。
- 調光器では使用しない（100%点灯でも使用不可）。  
＊過熱し、火災の原因となります。

- 点灯中および消灯直後は電球が熱くなっているので触らない。  
＊やけどの原因となります。
- お手入れや、ランプ交換の際は、必ず電源を切る。  
＊電源を切らないと感電の原因となります。
- 器具の真下にストーブなどを置かない。  
＊過熱し、火災の原因となります。
- 器具にボールなどの物をぶつけたり、衝撃を与えない。  
＊器具の落下によるけがの原因となります。

●照明器具には寿命があります。設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をお勧めします。点検せずに長時間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至るおそれがあります。

## ご使用上に関するお知らせ（このようなことにもご注意ください）

- LED素子の発光色等のバラツキなどのため、同一形式商品でも商品ごとに発光色、明るさが異なる、またはムラが生じる場合があります。
- 山間部や鉄筋建物など、電波の弱い地域では、ラジオや屋内アンテナ使用のテレビに影響する場合があります。このような場合は、ラジオや屋内アンテナを器具から離してお使いください。
- 器具の近くでは、ラジオやテレビに雑音が入ったり、他の家電品の赤外線リモコンが動作しない場合があります。このような場合は、ラジオやテレビ、他の家電品を器具から離してお使いください。
- 温泉地などの腐食性ガスが発生する場所での使用はお避けください。  
光学特性などに不具合が発生することがあります。

## 器具を取り付ける前に

- この器具は、天井取り付け専用です。このような場所には、取り付けないでください。

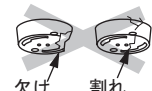


禁止

落下・器具破損によるけがや  
火災・感電の原因となります。



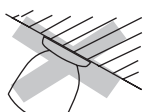
ガタつくもの



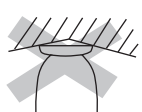
欠け 割れ  
破損しているもの



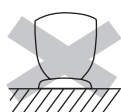
押すと簡単にたわむ  
補強のない天井



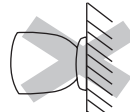
傾斜天井



舟底天井  
取り付け面が凹凸



上向き  
取り付け



横向き  
取り付け

- 天井にこのような配線部品が付いている場合は、ご家庭でも手軽に器具が取り付けられます。



必ず守る



角形引掛  
シーリングボディ



丸形引掛  
シーリングボディ



埋込形引掛シーリングローゼットボディ

あらたに、配線部品を取り付ける場合は、電気工事店（有資格者）に取り付け工事を依頼してください。（しろうと工事は危険です。また、法律で禁じられています。）

## 電気工事店（有資格者）のかたへ

あらたに丸形引掛シーリング  
ボディを取り付ける場合

- 電線を接続し、付属のなべ木ねじ2本で野縁などの補強材のある所に取り付けてください。



必ず守る

\* 火災や感電、落下の  
原因となります。

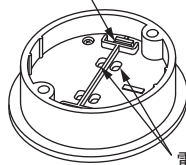
野縁

付属の丸形引掛シーリングボディへの電線接続方法

接続のしかた

- 電線をゲージに合わせて段むきし、電線接続穴にしっかりと差し込んでください。

電線はずし穴

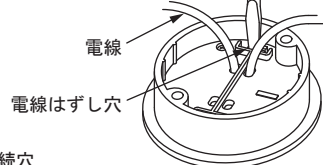


電線接続穴

解除のしかた

- ドライバーを電線はずし穴に強く差し込んで、電線を引き抜いてください。

○ドライバー



電線

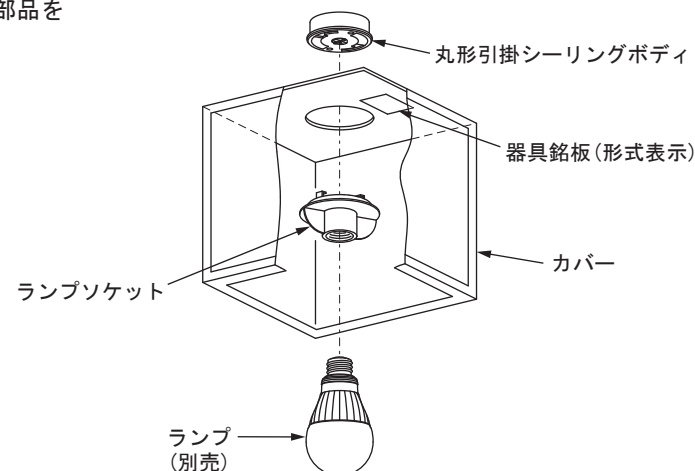
電線はずし穴

●適用電線・・・Φ1.6、Φ2.0単線

## 各部の名称

図は取り扱いを説明するため、一部省略抽象化した共通図です。

- 下図を参照して、各部品をお確かめください。



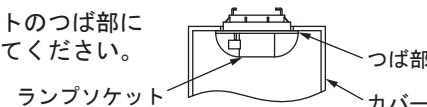
付属品



## 器具の取り付けかた

電源を切ってください。（壁スイッチを OFF にしてください。）

1. ランプソケットのつば部にカバーをのせてください。



必ず守る

ランプソケットのつば部に、カバーを  
確実にのせてください。

\* 取り付けが不完全な場合、カバーの変形による火災の原因となります。

2. 天井の配線部品にランプソケットを差し込み、右方向いっぱいにもわしてください。



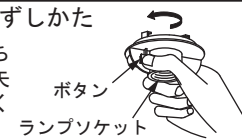
必ず守る

ランプソケットが確実に取り付けられているか、確認してください。

\* 接続が不完全なまま使用した場合、火災・器具の落下によるけがの原因となります。

■ランプソケットのはずしかた

- ランプソケットを持ちボタンを押しながら矢印の方向へまわしてください。



ボタン

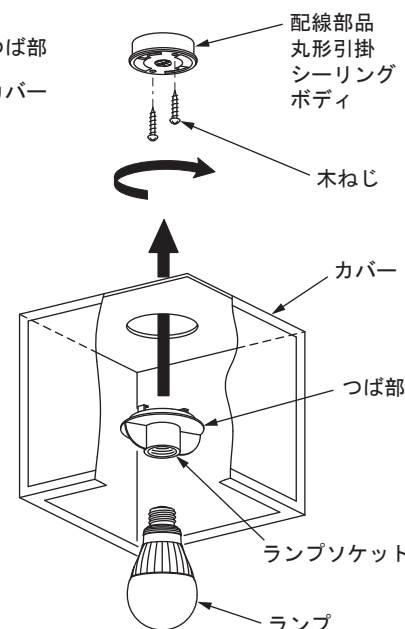
ランプソケット

3. ランプをランプソケットに取り付け、点灯確認してください。



必ず守る

取り付けが終わりましたら、確実に取り付けられているか、確認してください。



配線部品  
丸形引掛  
シーリング  
ボディ

木ねじ

カバー

つば部

ランプソケット

ランプ